

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	海岸整備	コード	01-03-03	作成者	役職	農林水産課長
		氏名	木村 昭広	電話	64-1830	

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	災害に強いまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	海岸保全区域内の住民、農地所有者のため、津波、高潮、波浪その他海水又は地盤の変動による被害から住居、農地等を保全する。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	未改修部分において、台風による集中豪雨や高潮及び波浪等による被害が懸念されるため、緊急性の高い区域は保全区域に指定し、補強改修等を県に強く要望し整備促進を図る。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 未整備箇所の早期完成と高潮対策工事及び局部改良事業の促進を県に要望する。 	

施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業名	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業 分類	事業費(単位:千円)						優先順位 その他
				H17		H18		H19		
				直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	
1 農林海岸整備事業	B	県営農林海岸施設整備事業	ハード事業	0	1,983	0	1,571			
		海岸施設管理委託料	維持管理	170		170				
2 海岸整備事業	C	県への要望事務(備前)	ソフト事業	0		0	505			
		海岸安全施設整備事業	ハード事業	0	1,106	0				
		県への要望事務(日生)	ソフト事業	0		0				

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17	H18	H19
	3,259	2,246	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

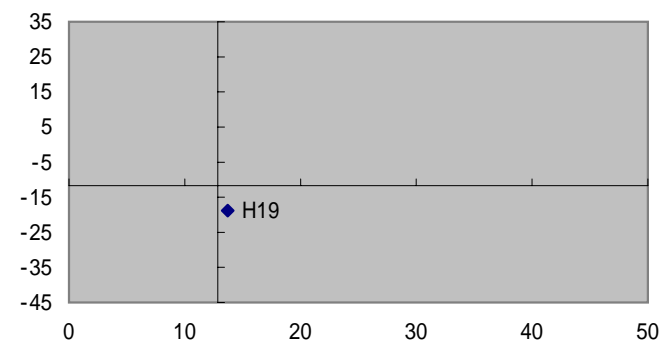
実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
岡山県土木部	海岸整備事業(管理移管)	農地の減少により農林海岸としての機能が薄れつつあるため、建設部門への管理移管を検討する必要がある。

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	県営事業での施行のため、県に対して毎年度要望を行なっておりますが、予算確保が出来なかった。19年度は予算確保ができました。	2	施策評価指標の実績がない。
2 事業構成の適当性	3	県管理施設のため、県が事業主体で実施することが妥当であるが、建設部門への移管は検討の余地あり。	3	未整備箇所の優先順位をつけて県へ要望する。
3 施策の有効性	4	保全区域の防災効果において重要度は高い。	4	市民からの要望は多い。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	近年の異常気象に対応するため、地元関係者と連絡を密にとり、危険箇所の把握に努める。また、建設部門への管理移管を協議していく。		台風による集中豪雨や高潮による被害が懸念されるため、危険箇所の把握に努めることが大切である。	
二次評価者コメント	台風時における高潮対策の一環として、県に強く要望していかなければならない。			平成20年度 予算の方向性 重点配分

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	13.7		
満足度(%)	-18.8		



調査結果に対するコメント、市民の反応等	台風時における高潮等の被害を懸念し、施設に対する関心が高く整備に対して満足度が低いため、整備要望が多い。
調査対象でない施策の場合は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H28		
1 堤防の補修	目標	%	100.0	100.0		100	県営事業で単年度完了工事のため、常に100としている。
	実績	%	0.0	0.0			
	達成率	%	0.0	0.0			
2	目標						
	実績						
	達成率	%					
3	目標						
	実績						
	達成率	%					
4	目標						
	実績						
	達成率	%					